

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (北陸)	良く なっている	タクシー運転手	来客数の動き	・前半は総選挙があり、忘年会を延期したところもあり、あまり活気がなかったが、後半に忘年会が集中した。全体としては、前年同月よりは良くなかったが、3か月前よりは良かった。
		通信会社（営業担当）	来客数の動き	・年末に向けてのボーナス商戦割引施策を行った結果、予想以上の販売数増加につながった。
	やや良く なっている	一般小売店〔精肉〕（店長）	来客数の動き	・来客数が全体的に多かった。
		一般小売店〔書籍〕（従業員）	来客数の動き	・前年同月比は厳しいものの、少しずつではあるが来客数は回復傾向にある。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・地元電力会社の節電要請などもあり、ウォームエコが十分浸透し始めている。顕著な例が、布団や毛布、電気を使わない石油ストーブといった商材の動きが、前年同月の5割増しの勢いで伸びている。そういう意味では、客自体が無駄な事をせずに温まる、温もりのある暮らしを求めるといった行動が顕著に出ているのが実態である。
		通信会社（役員）	販売量の動き	・大手通信事業者によるインターネット高速ブロードタイプの新商品および料金引下げ発表の影響を懸念していたが、現状は特に大きな影響は無く、新規契約数も堅調に推移している。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・展示場来場者が着実に増加し、引き合いも増加している。
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・厳しい寒さとなり、季節関連商品は前年同月より好調であるが、天候が週末にかけて崩れることが多く、全体としては横ばいの状態である。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・セールを待っている状態である。例年より早く買い控え状態に入っている。
		一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	販売量の動き	・12月前半は総選挙の影響でパーティーなどのキャンセルが相次いだ。選挙後はやや持ち直したが落ち込みは取り戻せていない。年末年始向けの食材も例年の売上には届いていない。
		百貨店（売場主任）	単価の動き	・若干であるが単価上昇の傾向がでてきている。ただし、客単価上昇にはつながっておらず入店動向に左右されている。
		百貨店（営業担当）	単価の動き	・今年の冬期間は早めに積雪もあり、例年より高単価のコートを多く販売した。3WAYや4WAYの多機能コートを始め、毛皮のついているコートを中心に販売し売上につなげることができた。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・11月に関しては秋という気候がなく急に冬になったという感じで、重衣料の動きが非常に良く、売上がグンと伸びたが、当月になってからは、セール待ちの客が多々見られるので、数字は少し伸び悩んでいる。インナー関連では、気温が低下し寒いので、あったかインナーや腹巻、毛糸のパンツなどの雑貨アイテムが売れている。
		百貨店（売場担当）	単価の動き	・総売上の客単価は前年同月比100.1%と前月と変わらず、全体売上は同99%であった。売場改装を実施した部門は、客単価も前年比114%と好調であるが、他の部門は横ばいの状態である。
スーパー（店長）		来客数の動き	・客の動きを見ていても特に変わった様子は見受けられない。	
スーパー（店長）		単価の動き	・年末の動向を見ても、買物単価は依然上がっていない。相変わらず安売り商品を中心とした買物をしている様子で、年末といえども高級志向ではなく、従来通りの買回りをしている。	
スーパー（総務担当）		来客数の動き	・12月前半は総選挙の影響で、売上が伸びなかった。特に歳暮用ギフト商品、婦人服が前年を下回った。	
スーパー（総務担当）		お客様の様子	・クリスマス、正月食品は概ね点数的には前年同月を上回るも、単価は前年同月同様やや下がった。前年よりケーキなどで高額品が売れるカテゴリーもあるが、景気は横ばいかやや上向きという感じである。	
スーパー（統括）		お客様の様子	・3か月前と比較すると、客の買物の仕方では大きく変化は見られない状況である。しかし、今月においてはクリスマスというイベントの中では多少今までと違って購買意欲が増し、ものが良く、おいしくて、高価なものを以前よりも購入する客が増加しているような感じである。	

コンビニ（経営者）	販売量の動き	・総体的には変わっていないが、近くで住宅の建築を結構行っていたりして良い部分もあるのだが、逆に目的買いだけのために他のところで物を買って、当店で必要なものだけを買っていく人もいる。
コンビニ（経営者）	販売量の動き	・2号店においてだが、競合店が出店以来、売上の前年同月比は90%には届かず、1日の来客数は100人程度減っている状況がずっと続いている。
コンビニ（店舗管理）	お客様の様子	・例年、12月の傾向として中旬から下旬に売上が上がるものなのだが、今年はその傾向が見られない。クリスマス商材への反応も鈍かった。
衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・店舗内の様子だけに限定すると、来客数については変化がないようだが、来客の層については少しパリエティーが増えている感じがする。年末のセールにこだわらず、1人ひとりが自分の判断で買い物をしている気がする。
家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数は前年同月比で約20%下回っている。今後も伸びる気配はなさそうである。
家電量販店（管理本部）	販売量の動き	・販売量が前年同月実績を超えそうで超えない。
自動車備品販売店（従業員）	単価の動き	・降雪に伴いスタッドレスタイヤの数量ベースは例年並であったが、客の要望は少しでも安く収めたい消費者が多く、単価は前年同月比で10%低下している。また、使用期間を超えたタイヤを使用している消費者も多い。
その他専門店【酒】（経営者）	来客数の動き	・年の瀬になってきて慌ただしいだけで、売上は伸びていない。
その他専門店【ガソリンスタンド】（経営者）	お客様の様子	・客の様子を見れば、高額な品物は買い控えている状況だと考えられる。
その他専門店【医薬品】（総務担当）	来客数の動き	・来店頻度、買上点数、単価は低下傾向にある。買上商品は、目玉商品、低価格商品にシフトしており、売上高は前年同月を下回っている。ボーナス商戦、クリスマス商戦は、盛り上がりがなく終わった。
その他小売【ショッピングセンター】（統括）	販売量の動き	・早いタイミングの降雪によって、衣料や身の回り品の冬物関連用品の販売量は堅調に推移している。ただし、例年であれば売上が増加するボーナス支給時期の、来客数及び販売量が目標を下回った。クリスマス関連商品についても、身近な食品などは好調であったが、高額商品の販売量が目標を下回った。
スナック（経営者）	来客数の動き	・総選挙の影響か不景気なのか、低空飛行でもこの12月だけはと思っていたが、前年同月も良くなかったが、売上はそれよりもまだ1割悪く、がっかりといった状態である。皆さん良い話はしないが、政権交代による期待については各職業で聞かれる。
観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・総選挙の関係か忘年会の予約が伸び悩んだ。また、1件1件の人員も少なくなっており集客に苦戦している。
観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・総売上は前年同月比92%、宿泊人数は同92%、宿泊単価は同93%となった。宿泊人数が個人、団体とも減少したためである。
タクシー運転手	販売量の動き	・忘年会シーズンも終わり、売上は前年同月と変わらなかった。
通信会社（職員）	お客様の様子	・割引や値引に対する反応も薄く、活発な動きがみられない。
通信会社（社員）	販売量の動き	・スマートフォン需要は堅調である。
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・スマートフォンの新機種発売に伴い、一時的ではあるが動きがみられたが、3か月前と比較すると、客の購買意欲に変化が感じられない。
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・新機種発売効果で10月、11月の販売量は増加したが、新機種発売前と比較すると販売量に変化はない。
テーマパーク（職員）	来客数の動き	・来客数は前年同月比2桁減となった。3か月前と依然変わらず、個人旅行、団体旅行ともに鈍い状況である。
美容室（経営者）	来客数の動き	・販売促進活動をいろいろと企画して来客数は何とか前年同月並みであるが、経費は前年をオーバーしている。

	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・消費税率引き上げ前にと動いている客層は、質より安価なものを求める客層が多く中高級商品の販売が増えてない。
	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・景気が改善されず個人消費が伸びる要素がないため、資力に余裕がある人のみ購入に前向きであり、購買意欲が全体に広がらない。
	住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・消費税率の引き上げと言われながらも、今のところは駆け込みが感じられない。
やや悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・例年、寒さの訪れと共に客の数も減少気味ではあるが、今年は特に少ないように感じる。年末商戦もマイチの人出である。ここへきて、今まで健闘していた食品関連の店舗も来客数が減少している。
	コンビニ(店長)	それ以外	・12月においては、雪が思ったより早く降ったこともあり客足が非常に伸び悩んだ。それ以外にも、クリスマスケーキやおせちといった、注文して買っていた商品が前年同月の6~7割位しか注文を受けられず苦戦をしている。原因としては、客に前年ほど声をかけられなかった当店にもあると思うが、そういったところを客が控えたり他のところで注文されたりと、コンビニよりも別の安い小売店、スーパーなどで既に入されたというのが多く、前年同月比でケーキなどを含めた売上は、全体で7割となった。
	衣料品専門店(経営者)	来客数の動き	・12月前半の土曜、日曜から積雪があり来客数が減少し、また師走の総選挙も影響したが、客自身の購買意欲が弱く感じられる。
	衣料品専門店(経営者)	お客様の様子	・大手を中心にコート関連が売れていると言うが、あくまで想定範囲内で、特別に良い日がないが、天候などの悪い日の落ち込みがばん回できず、そのまま引きずってしまっている。
	乗用車販売店(役員)	販売量の動き	・エコカー補助金の終了以降、受注の水準が徐々に低下している。登録ベースでは前年同月比若干の遅れで推移しているが、内容が極端に悪化している。整備関係がほぼ前年同月並みなので販売の劣勢をカバーしている状況である。
	乗用車販売店(経理担当)	お客様の様子	・車の販売量は前年同月比67%と、ますます悪化している。
	高級レストラン(スタッフ)	販売量の動き	・11月中旬に衆議院解散、総選挙が決まった翌日から、予約受注ベースが本来の50%にまで急激に低迷した。そのためもあり、今月は過去5年間の平均に対して75%ほどの売上に終わった。市や県の官庁がらみの忘年会ではキャンセルもあり散々の結果である。
	一般レストラン(スタッフ)	来客数の動き	・今月は総選挙、雪の影響に加え、長期休暇となる年末年始にお金を回すため、クリスマスの外食も控え気味で客足が鈍っている。忘年会シーズンでもあるが、1人当りの価格を抑える傾向にある。また、インフルエンザやノロウイルスなどの影響もあり、人混みや外食を控えている家族もいる。
	都市型ホテル(スタッフ)	販売量の動き	・宿泊、レストラン、宴会各部門において、売上は前年同月比で減少している。
	旅行代理店(従業員)	来客数の動き	・総選挙で全く動きが止まってしまっていたところへ、大雪のダメ押しとなった。消費がほかに向いてしまい、当地では旅行どころではない。大変厳しい状況である。
	競輪場(職員)	来客数の動き	・降雪の影響で地元開催が中止になり、来客数が前年同月比で約10%減少した。
	その他レジャー施設(職員)	お客様の様子	・会員の退会が、大人、子どもとも多くなってきた。
悪くなっている	一般小売店[事務用品](役員)	販売量の動き	・総選挙の関係もあったと思うが、半期の予算消化のための購入や決算の会社の駆け込み需要が全くなく、寂しい限りであった。
	乗用車販売店(経営者)	お客様の様子	・総選挙期間を中心に来客数、売上ともに激減した。自動車諸税の軽減や廃止に関する問い合わせや、割賦金利手数料などの動向に、顧客の関心が高まっていることは日々の商談の中で強く感じ取れた。
	乗用車販売店(経営者)	販売量の動き	・新型車の発表もあったが、全く注文が取れない。客は様子見状況で、購入を控えているようである。
	住関連専門店(店長)	お客様の様子	・客の動きとして、エコや節約などが当たり前となっており、必要最小限のものしか買わなくなっており、そこに欲求があまりわかなくなっているように思う。特に30代、40代にその傾向がみられる感じがする。

企業 動向 関連 (北陸)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	化学工業（総務 担当）	受注量や販売量 の動き	・社内会議の中で、今年度後半に受注が増加予定との 報告があった。
		不動産業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・同業者に話を聞くと、少しずつ動きが出てきている という話がよく聞けた。
		税理士（所長）	取引先の様子	・税理士関与先のうち、中小下請の製造業において受 注状況が好転してきたようである。特に工場の生産ラ イン関連設備の受注や省エネをはじめとした環境関連 の受注により徐々に好転の動きが見られる。また、飲食 店関係も独自のサービスを展開すべく設備投資した事 業者は、特に良い結果が出始めてきている。
	変わらない	食料品製造業 （役員）	受注量や販売量 の動き	・業界内においては、年末おせち材料の予約分が前年 同月比95%程度と、注文数、物量が若干減少気味に なっている。
		繊維工業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・受注が前年同月比で大幅に下回る状況が続いてい る。特にスポーツ用途の高機能織物の輸出が、相変わ らず低迷している。
		繊維工業（経営 者）	取引先の様子	・衣料分野は春物生産の終盤であり非常に慎重であ る。また、車両関係については半減している。
		一般機械器具製 造業（総務担 当）	受注量や販売量 の動き	・主力市場である欧米からの受注が回復しない。
		精密機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・生産、販売量とも3か月前よりは若干高めの目標で あったが達成している。
		建設業（経営 者）	受注価格や販売 価格の動き	・12月工期の工事に追われているが、雨や雪の影響で 年内に完成できない工事も出てきた。厳しい競争の中 での受注工事であり、採算性は良くなく、貧乏暇なし の状況である。
		建設業（総務担 当）	競争相手の様子	・地域にもよるが、低価格受注の業者の破綻が続き、 安値受注競争が一段落してきた。
		輸送業（配車担 当）	取引先の様子	・現状、急激に物量の回復は見込めないほか、燃料費 などのコストが下がらず、利益を上げる上での負担と なっている。
		金融業（融資担 当）	取引先の様子	・尖閣諸島問題などに端を発した中国経済とのつな がり冷え込み、引き続き影響しているものと思われ る。
金融業（融資担 当）		取引先の様子	・相変わらず個人消費の重さが如実に感じられる。客 の店頭での売上の状況が一向に改善していない。	
司法書士		取引先の様子	・事業者関係では複数の建物新築、新施設開設やその 準備の話があったが、医療機関、福祉関係施設に限ら れている。	
やや悪く なっている				
悪く なっている				
雇用 関連 (北陸)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	人材派遣会社 （社員）	求人数の動き	・12月に入ってから、翌年3月末までの単発の仕事で はあるが、求人数は例年より増えている。
		人材派遣会社 （役員）	求人数の動き	・年末月の需要は大きく発生しなかった。企業内での 対応が見られる。
	変わらない	職業安定所（職 員）	求人数の動き	・新規求人数は増加しているが、派遣や臨時求人が多 く、求職者が求める正社員求人は少ない。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・企業の求人意欲は業種によってバラツキがみられ、 飲食サービス、医療や福祉分野は意欲が高いものの、 製造業は意欲が乏しい状況がみられる。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・新規求人数は、医療福祉で新施設開所や増床などで 増加する一方、製造業では一部業種で減少が続いてい る。
		学校〔大学〕 （就職担当）	求人数の動き	・求人件数は前年同月比でも大きな変化はなく、今後 も横ばいの状況ではないかと推測される。
	やや悪く なっている	求人情報誌製作 会社（編集者）	求人数の動き	・求人数が、求人情報誌1回の発行あたり100件ほど 減少した。
		新聞社〔求人広 告〕（担当者）	求人数の動き	・総選挙の影響もあるかもしれないが、12月の求人広 告の売上は、前年同月比約4割である。
		民間職業紹介機 関（経営者）	求人数の動き	・求人数が増えてこない。派遣受注件数も低位の横ば いである。求職登録者数も増えていない。
悪く なっている	-	-	-	